

第 41 回原状回復対策協議会 (5 月 29 日開催) について

5 月 29 日に開催された第 41 回原状回復対策協議会内容についてお知らせします。

1. 廃棄物の撤去処分状況について

地区	廃棄物種別		廃棄物推定量 (t)	H21までの処分実績(t)	うちH21処分実績(t)	備 考
	特管	普通				
A	○		65,800	65,800		掘削完了(総量 65,800t)
B	○		112,920	98,981	40,219	掘削完了(総量 103,709t)
D	○		44,560	14,249	6,796	
E		○	530			
F	○	○	22,470	7,960		
H		○	170	170		掘削完了(総量 170t)
I		○	13,440	13,440		掘削完了(総量 13,440t)
J		○	13,830	1,180		
K	○	○	9,980			
L	○	○	9,440	9,440		掘削完了(総量 9,440t)
M		○	7,300	2,304		掘削完了(総量 2,304t)
N	○	○	11,910	7,121		掘削完了(総量 7,121t)
O		○	11,970	7,060	4,292	
計			324,320	227,705	51,307	

これまでに、A～Oまでの13地区のうち、7地区の撤去が完了し、今年度はD、F、J、Oの4地区について掘削・選別を行うこととしています。(これまでの撤去量は下欄に示しています。)

2. 汚染土壌対策について

N地区について、汚染濃度が高い区域においては「揚水ばっ気」で、汚染濃度が低い区域においては「バイオ浄化」により浄化を行っていましたが、全体的に汚染濃度が低減したため、5月より全面「バイオ浄化」に移行しました。なお、5月時点で全87区画中35区画で全VOCが環境基準値以下となりました。

今年度は、N地区以外で土壌汚染が疑われる7地区について、これまでの知見を生かし、最適な浄化工法を検討したうえで、浄化工事に着手する予定です。

3. 環境モニタリング結果について

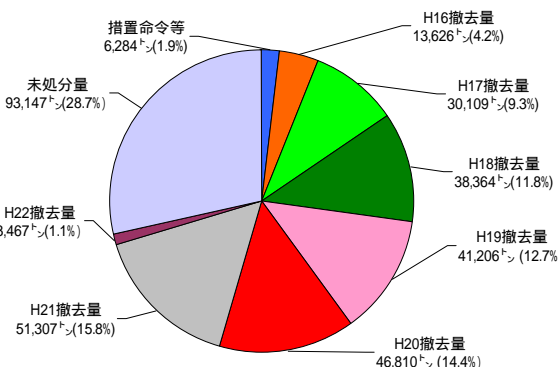
全体として、検出される有害物質は低減傾向にあり、特に汚染濃度が高かった県境部地下水のVOC濃度については、N地区での浄化対策実施以降、これまで以上の低減傾向が確認されています。

廃棄物の撤去状況について (平成 22 年 5 月末現在)

表: 22年度の月別撤去量

	撤去量(トン)
22年4月	538
22年5月	2,929
合計	3,467

平成22年度撤去目標 48,000トン



5 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、231,174 トン (71.3%) を撤去しました。